

人々の憩いの場となる 施設上部の公園

水処理施設の上部空間には、四季折々の花と都会の美しい景観が楽しめる公園があります。また、テニスやフットサル等が楽しめる運動場もあります。

〈利用申し込み先〉
港区スポーツセンター
TEL03-3452-4151



▲施設上部を芝浦中央公園として開放しています

芝浦水再生センターのイベント

水再生センターの仕事や下水道の役割を理解していただくために、イベントを開催しています。

令和元年度は、「芝浦水再生センターウインターキャンドル」を開催し、多くのお客さまにご来場いただきました。



案内図



下水道の役割や水環境の大切さを、楽しみながら学べる体験型施設です。

- 開館時間/9:30～16:30 (入館は16:00まで)
- 入館無料
- 休館日/月曜日(月曜日が祝祭日の場合は開館し、その翌日休館)、年末年始※夏休み期間は無休

- 所在地/江東区有明2-3-5 有明水再生センター5階
- ☎ 03-5564-2458
- ホームページ <https://www.nijinogesuidoukan.jp/>

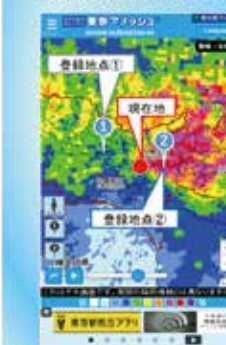
下水道局との関係をおわす 恵質業者にご注意を！

下水道局では、宅地内排水設備の修理や清掃などを業者に依頼することはありません。



●東京アメッシュ

都内とその周辺地域で降っている雨をレーダーと地上雨量計で観測し、リアルタイムに表示するシステムです。



●下水道アドベンチャー

下水道についてのクイズに正解して、下水道マイスターを目指そう。



●下水道局ホームページ

<https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/>



電話番号 **03-3241-0944**
受付時間 **9:00～17:00(平日のみ)**

水再生センター見学受付窓口

土曜、日曜、祝日、年末年始を除いて、水再生センターの施設を見学することができます。ご予約・お問い合わせは見学受付窓口までお願いいたします。



地域で育む水環境

芝浦水再生センター



芝浦水再生センターは、昭和6年に稼働した東京で3番目に古い水再生センターです。周辺環境は、かつての港湾倉庫街から、オフィスビルの立ち並ぶ都心の市街地に変貌しています。処理区域は、千代田・中央・港・新宿・渋谷区の大部分及び品川・文京・目黒・世田谷・豊島区の一部で、面積は6,433haです。これは、JR山手線の内側の広さに相当します。

処理した水は東京湾(運河)へ放流しています。また、その一部を繊維ろ過してセンター内で機械の洗浄・冷却・トイレ用水に使用しているほか、オゾンと膜ろ過によってさらにきれいにしてから近隣地区にトイレ用水等として供給しています。

発生した汚泥は、南部スラッジプラントへ圧送し、処理しています。

●処理区域



(令和6年4月現在)

- 運転開始 昭和6年3月
- 敷地面積 199,127m²
- 処理能力 830,000m³/日
- 水処理施設
 - 沈砂池 14池
 - 第一沈殿池 9池
 - 反応槽 17槽
 - 第二沈殿池 24池
 - 高速ろ過池 2系列
- 雨天時貯留池 94,600m³

●流入・放流水質

水再生センターからの放流水は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」の水質基準を十分に満たしています。 単位: mg/L

項目	流入水		放流水		条例による放流水の水質基準
	本系	東系	本系	東系	
BOD	210	180	11	6	—
COD	100	95	11	11	35以下
全窒素	43.1	41.4	13.7	13.9	30以下
全りん	4.1	3.8	0.7	0.1	3以下

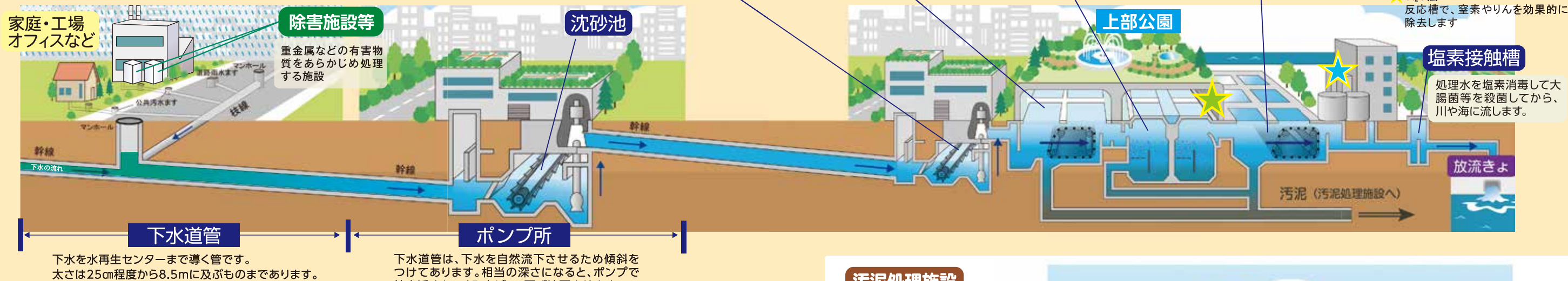
令和4年度 24時間試験平均値

※BOD、CODは、数値が高いほど水が汚れていることを示します。BODは、微生物が有機物を分解するのに使う酸素量、CODは酸化剤で有機物を分解して消費する酸素量で測ります。放流水の水質基準は、河川はBOD、海域はCODにより定められています。全窒素、全りんは、赤潮の発生などと深くかかわっています。



- ・下水を集めて流す**下水道管**
- ・下水道管が深くなりすぎないように途中で下水をくみ上げる**ポンプ所**
- ・下水を処理してきれいな水によみがえらせる**水再生センター**

どの施設も正しく働くように日々点検、清掃、補修などを行っています。



家庭や工場から排出された汚水を処理して、
快適な生活環境を確保します。

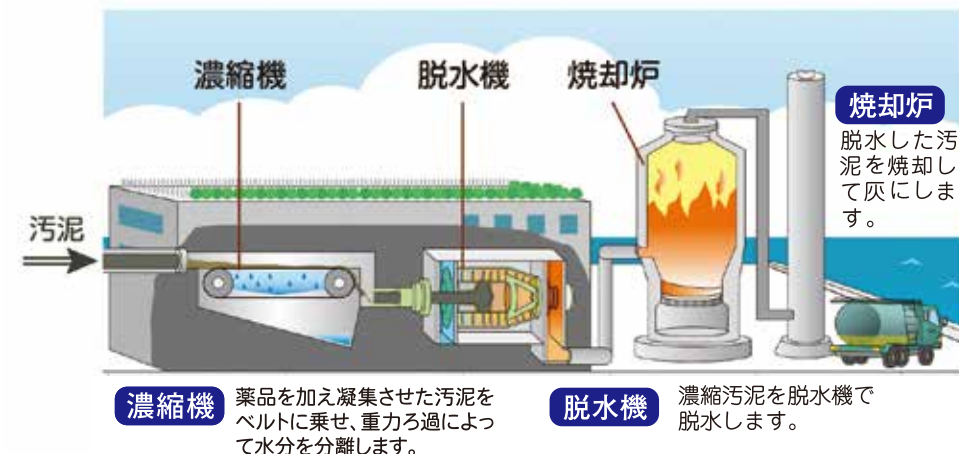
道路や宅地に降った雨水
を速やかに排除して、
浸水から街を守ります。

下水を処理し、きれいに
した水を川や海に放流す
ることにより、その水質を
改善し、保全します。

再生水や下水熱など下水道が持つ
資源・エネルギーの有効利用や下水
道施設の上部空間の利用などにより、
良好な都市環境を創出するという新
しい役割を担っています。

汚泥の水分を取り除き、
焼却しています。

※ 汚泥処理施設のない水再生センターは、汚泥処理施設のある水再生センターに送って処理します。

[illegible]

貯留池上部に高層ビル 上部利用事業と下水熱の利用事業

平成27年4月、東京湾の水質改善に貢献する施設として、雨天時貯留池が稼働を開始しました。雨天時貯留池上部に建設された品川シーズンテラスには、芝浦水再生センターの下水熱や再生水が供給され、ビル全体の空調熱源やトイレ用水などに利用されています。平成27年2月に始まった下水熱の利用事業は、気温と比べ「夏は冷たく、冬は暖かい」下水の温度特性を活用するもので、温室効果ガスの削減に貢献しています。



循環型都市づくりに貢献する再生水利用事業

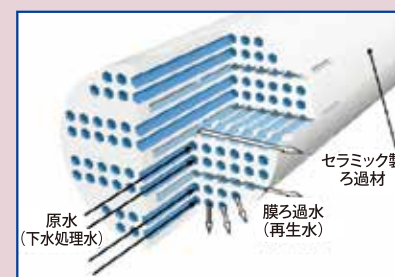
処理水は水量が豊富で、水質も安定しているため、再生水として有効に活用しています。オフィスビル内のトイレ用水や道路散水等として、品川駅東口地区、大崎地区、汐留地区、永田町及び霞が関地区、東品川地区、八潮地区に供給しています。

平成22年4月から、国内で初めて再生水処理工程のろ過材にセラミックを用いた再生水製造施設が稼働しています。耐久性の高いセラミックを用いることで、低廉なコストで安定的な供給を行っています。

※センター内の機械設備の洗浄・冷却水及びトイレ洗浄にも利用



セラミック膜ろ過による再生水製造施設



セラミック膜ろ過の構造